

～未来へつなぐ 住みよい興田～

興田地区振興会だより



No.68 令和3年6月24日
連絡先 興田市民センター内
振興会事務局 74-2201

専門部会事業が本格始動！

興田再発見移動研修

6月6日に興田再発見移動研修を実施し、16名が参加しました。

大東開発センターを出発し、①コランダム産地、②立石、③牛石、④鬼石、⑤阿原山高原、⑥小森塾、⑦畳石の順で車に乗って見学しました。

①と②は、クロモジが至る所に自生し、柔らかい木漏れ日がさしこむ山道を徒歩で目的地へ向かいます。⑥は高野長英（江戸時代後期の医者・蘭学者）ゆかりの地で、参加者は歴史浪漫に思いを馳せていました。

午後は阿原山高原にて昼食を取り、爽やかな風がそよそよと吹く中で360度パノラマを堪能。この日は天候にも恵まれ、普段は霞がかっている岩手山も運よく遠くに見ることができました。



高さ約10mある立石周辺を観察する参加者。



SNS映える写真は撮れたかな？



足元軽やかに出発！



忠魂碑の説明に耳を傾ける参加者。

史跡巡り健康づくりウォーキング

5月26日に「史跡巡り健康づくりウォーキング」（第1回 鳥海村コース）を実施しました。好天にも恵まれ、12名が参加しました。

大東開発センターを出発してまずは忠魂碑をめざし、遺族会の小山鉄夫氏（小西）に説明を頂きました。その後、小森塾、興田十景の畳石、龍門寺を巡り、約5kmのコースをほぼ予定時間どおりにゴールの大東開発センターに戻ってきました。

道中は、野草に詳しい参加者から道端に生えている植物の説明を聞きながら、時に笑い声につつまれて楽しく歩きます。

参加者の万歩計はほぼ1万歩を越えており、爽やかな風と共にほどよい疲労感と達成感に包まれました。

本事業は今年度全4回を予定しており、次回以降の予定は決まり次第お知らせします。

チェーンソー講習会

5月23日にチェーンソー講習会（里山整備講習会）を行い、前年度参加者のうち希望する16名が参加しました。講師は、岩手県伐木技術指導員の武田一吉氏（前畑）と公益財団法人岩手県林業対策基金の千葉栄氏（盛岡市）の2名です。

この講習会は、庭や里山整備をするにあたって安全な作業を行うために必要な基礎知識を教わる目的で、今回は実機でエンジンをかけて玉切りの方法を学びました。

参加者はチェーンソー専用安全服等を装着し、エンジンの正しい掛け方やチェーンソーの安全な構え方などを丁寧に教えて頂き、2班に分かれて実践しました。

「今までは独自の操作方法をしていたと思うが、事故が無かったのは単に運がよかっただけ。正しい使い方と無理のない姿勢で事故の無い作業をしてほしい。」と千葉氏は力説します。



講師の千葉氏（左）と武田氏（右）



正しい姿勢が大事！



感謝！

講師からヘルメット3個と足用プロテクタ15組を興田地区振興会にご寄贈頂きました。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



冗談も交えながら説明する武田氏。



事故につながる危険な状況を実機で再現。

刈り払い機講習会

6月13日に刈り払い機講習会（里山整備講習会）を行い、これまでのチェーンソー講習会参加者のうち希望する方を対象に11名が参加しました。

講師は引き続き武田一吉氏が務め、安全な刈り払い作業をするための基礎知識を学びました。

武田氏は、足場の安全確保・熱中症・ハチに気を付ける必要があり、どれも疎かにすると重大な事故に繋がる。特にこれからは気温と湿度が上がるため、日陰での適度な休憩と常温の水分を少量ずつ頻繁に摂ることが大事で、塩分も忘れないように。

また、中山間活動などの複数人で作業する場合には、5m以下の間隔と、斜面で上下に並ぶことは禁止されていることを知ってほしい。単調な作業のために集中力が切れがちになるので、危険を伴う機械を操作していることを常に意識し、事故が無い作業に務めてほしいと訴えます。



文化講演会

5月29日に文化講演会を行い、地区内外の歴史ファン35名が聴講に訪れました。

講師にえさし郷土文化館館長の相原康二氏（盛岡市）をお招きし、「^{ろっかぐん}六箇郡の司、^{つかさ}安倍氏を考える ～平安時代後期の磐井郡、東北地方～」
と題してご講義頂きました。

前談では、5月26日に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録勧告されたことを受けて、発掘現場から垣間見えた当時のトイレ事情・衛生状態・食生活、さらには当時の人々の心の問題などの解説も頂きました。

本題の六箇郡とは鎮守府胆沢城所管の胆沢・江刺・和賀・稗貫・紫波・岩手郡の事をいい、安倍氏とは陸奥話記（1062年頃の軍記物語）に登場する一族で、胆沢城の役人のことです。

また、その当時活躍した奥州藤原氏についても遺跡発掘状況などから分かったことを丁寧に解説して頂きました。

聴講者は1千年以上前の当時の人々の様子に思いを巡らせ、歴史浪漫に浸っていました。



熱心に耳を傾ける来場者。

新事業

クロモジ香る特産品を！

クロモジ精油を使った商品例
(化粧品、ハンドクリーム)

産業振興部会では、本年度事業として産学連携による「クロモジの特産品化」に取り組めます。事業の大まかな流れは下記のとおりで、当会では①～②までの仕組みづくりを行います。

- ①自生または栽培しているクロモジの葉または小枝を採取。
- ②衝撃波発生装置を有する民間企業に売却。
- ③衝撃波発生装置などで精油・芳香蒸留水を抽出。
- ④精油から化粧品などを製造・市販。

今後は、クロモジがいかに魅力ある樹木かをお知らせし、関わる人を増やしていく予定です。本事業により、荒廃の一途をたどる里山整備の一助にもなればと期待しています。まだ動き出したばかりの事業ですが、今後の活動にご注目ください。



だいとうメール

24時間365日受信登録受付中！
登録・受信無料！（パケット料金は個人負担）



だいとうメールは、大東地域内のイベントなど、ふるさとの有益な情報満載です。大東地域外に住んでいる方でも受信登録できます。

受信登録方法はとっても簡単。右の二次元コードをカメラで読み取るか、「apply@daito-mail.com」を直接入力し、空メール（タイトルも本文も無し）を送信するだけ！

登録手順に自信がない方は、携帯電話販売店またはだいとうメール運営協議会事務局（0191-75-2229）にお問い合わせください。

統計情報	世帯数 (戸)	男性 (人)	女性 (人)	合計 (人)
令和3年5月末	1,177	1,448	1,490	2,938
前月比	1	-4	-4	-8
前年同月比	-8	-45	-38	-83

令和3年度福祉講演会

開催日
せまる!!

震災で見た命

そして家族の絆

日時

令和3年 **7月3日** 土
13時30分から15時
(開場13時)

会場

大東バレーボール記念館
一関市大東町鳥海字細田24



講師

復元納棺師
株式会社「桜」代表

ささはら りいこ
笹原 留似子 氏



1972年生まれ。北海道札幌市出身、岩手県北上市在住。母は僧侶、先祖は山伏。幼少の頃から「キリスト教」日曜学校に10年通う。その後、神社に巫女として奉職し、神楽や舞楽を神前で奉納、3年後巫女長となる。その後、病院勤務を経て遺族の希望を多く取り入れる形の「参加型納棺」を立ち上げ、同時に独学で復元納棺師となる。

2007年岩手県北上市に 株式会社 桜 を立ち上げ、代表取締役となる。

医療・福祉・宗教者・行政・一般・葬祭・学校の「いのちの授業」など全国講演、技術講習会などで講師として活動。

東日本大震災では、ボランティアとして被災地に入り、生後10日の赤ちゃんから90歳を越える高齢者まで約300人を5ヵ月以上かけて見送るとともに、主に安置所において遺族へのグリーンケアを行った。現在も納棺の仕事のかたわら、長期的視野に立った被災者支援の活動を続けている。

主催 / 興田地区振興会 興田地区福祉活動推進協議会
共催 / 一関市 後援 / 一関市社会福祉協議会

聴講無料

定員：100名

対象：中学生以上

申込必要

※お電話ください

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講演会を中止・変更する場合がございます。予めご了承ください。

申込・お問合せ 興田地区振興会 ☎ 0191-74-2201